

## 指定管理評価表(中央地区会館)

平成31年3月31日現在

<b>施設概要</b>	尼崎市立中央地区会館(尼崎市西御園町93-2) 開館時間:9:00~21:00(休館日:月曜日、年末年始) 施設設置目的:市民の生活文化の向上と社会福祉の増進を図るための各種の研修、レクリエーション及び集会の場の提供 事業内容:中央地区会館の使用に関すること及び施設の維持管理			
<b>指定管理者の名称</b>	公益財団法人尼崎市スポーツ振興事業団			
<b>指定期間</b>	平成29年4月1日～平成31年3月31日			
<b>業務概要</b>	中央地区会館の維持管理業務			
<b>利用状況等</b>	項目名	平成30年度	平成29年度	平成28年度
	貸室利用者数	76,228 人	73,738 人	76,930 人
	貸室稼働率	33.15 %	33.87 %	34.05 %
	自主事業開催数	35 回	29 回	26 回
	自主事業参加者数	4,842 人	3,604 人	2,759 人
<b>所管課・所管課長名</b>	市民協働局中央地域振興センター・岸本 浩明			
<b>評価対象期間</b>	平成30年4月1日～平成31年3月31日			

評価項目	説明	評価	評価コメント
<b>1 サービスの質の維持・向上</b>		<b>A</b>	今年度の自主事業は35件企画され(昨年度29件)、これまで以上に積極的に取り組まれていることがわかる。また、市の政策として新年度から施設名称や施設利用手続き等が一部変更されるに当たり、利用者への負担を軽減するために、職員による利用者への丁寧な説明が徹底されており、大きなトラブルなく年度の切り替わりができています。
自主事業・指定事業	計画に沿って、積極的に自主事業・指定事業に取り組んでいるか		
サービス向上	サービス向上の取組みがされているか		
施設利用者数	施設利用者の掘り起こしがされているか		
利用者要望の把握	利用者要望の把握がされているか		
事業計画性、透明性	事業が計画的に、かつ透明性を確保して実施されているか		
住民・利用者の参画	住民または利用者とのパートナーシップを推進しているか		
<b>2 適正な施設の管理</b>		<b>A</b>	施設に不具合が出る度、利用者を最優先にし、早急に環境整備を行っている。指定管理者の負担により対処する範囲を超えていると考える施設修繕については、市に数度に渡り相談する等改善に向け行動している。作成した安全管理マニュアルは職員及び市と共有している。
施設保守・管理	施設の保守、管理が適正に実施されているか		
職員体制	合理的な配置か、責任体制が整った配置か		
危機管理	事故・緊急時の体制が十分に整備されているか		
個人情報管理	個人情報の管理が適正であるか		
職員研修	職員研修が十分に実施されているか		
<b>3 収支・経費節減</b>		<b>A</b>	消耗品の有効利用やこまめな消灯など節減に取り組んでいる。また、毎月作成する収支状況表は複数部署で確認を行い、収支状況は適正である。
収支状況	収支の状況が適正かつ良好であるか		
経費節減の取組	経費節減の取組みがされているか、		
<b>4 指定管理者の経営状況等</b>		<b>A</b>	会計状況や経営状況については、外部監査を受けた上で、年度当初に収支内容等の財務諸表をHPで一般公開している。
会計状況	適正な会計手続きがなされているか(監査報告書等による)		
経営状況	経営状況は良好か(貸借対照表、損益計算書等による)		
<b>5 その他</b>		<b>A</b>	個人情報に関する文書等は、鍵付きの書庫に適正に保管する等適正に管理されている。備品は現在簿をもって管理されている。
文書等の管理	文書類、帳簿、備品、資料等が適切に管理されているか		
評価の実施	内部評価を実施しているか		

指定管理者選定に係る事業計画書の主な取組内容	左記に関する取組状況とその取組に対する評価
・サンジビックまつり(地区会館まつり) ・クッキングスクール(手作りパン・ジュニア・季節もの) ・ロビー展示会(母、父の日、七夕、敬老の日 など) ・(新)冬休みの書道教室 ・(新)登録グループ体験会 ・(新)尼崎城出前講座 ほか	自主事業の実施が施設全体の利用率向上につながるよう、また、既存登録グループのより一層の活発な活動を促すため、新たに「登録グループ体験会」を4か月に渡り実施し好評であった。また、例年開催している地区会館まつり(複合施設全体のサンジビックまつりにあわせて実施)においては、飲食関係の店を増やす等工夫を凝らし来場者の増に努めている。例年実施しているロビー展示会や各種講座についても、新たな内容のものや話題の尼崎城に関するものを打ち出し、これまで施設を利用していなかった層に積極的に働きかけを行い、新たな利用者の開拓に取り組んでいる。

総合評価	総合評価の理由、今後の課題等
<b>A</b>	当該施設は市の災害時の避難場所に指定されている重要な施設であるにも関わらず、市として施設の老朽化に対応ができていない状況である。その中で、指定管理者は不具合が発生した場合を想定して対処方法を保守点検業者と打ち合わせておく等、維持管理に真摯に取り組んでいる。台風21号発生時には、市職員と連携し避難所開設にあたり、施設内の各設備の点検を行い、利用者の安全確保に取り組み、事故やトラブルを防いでいる。年度の後半には、市の政策に伴う施設利用手続きの変更等、高齢者が大半を占める利用者に対して職員による丁寧な説明が行われ、利用者の負担を最小限に留めている。以上の点から、優先順位を考慮し最大限の努力により良好な管理運営を行っていると同評価できる。

※ 評価は、A～Eの5段階評価とする。

※ 確認調査の結果をチェックリスト等に記入する。更に1～5の大項目ごとに評価を行った後、総合評価を行うこと。

※ A:非常に良好である又は非常に成果があった。 B:やや良好である又はやや成果があった。 C:取組状況の水準が普通である。

D:やや改善の余地があった。 E:多くの改善すべき点が見受けられる。